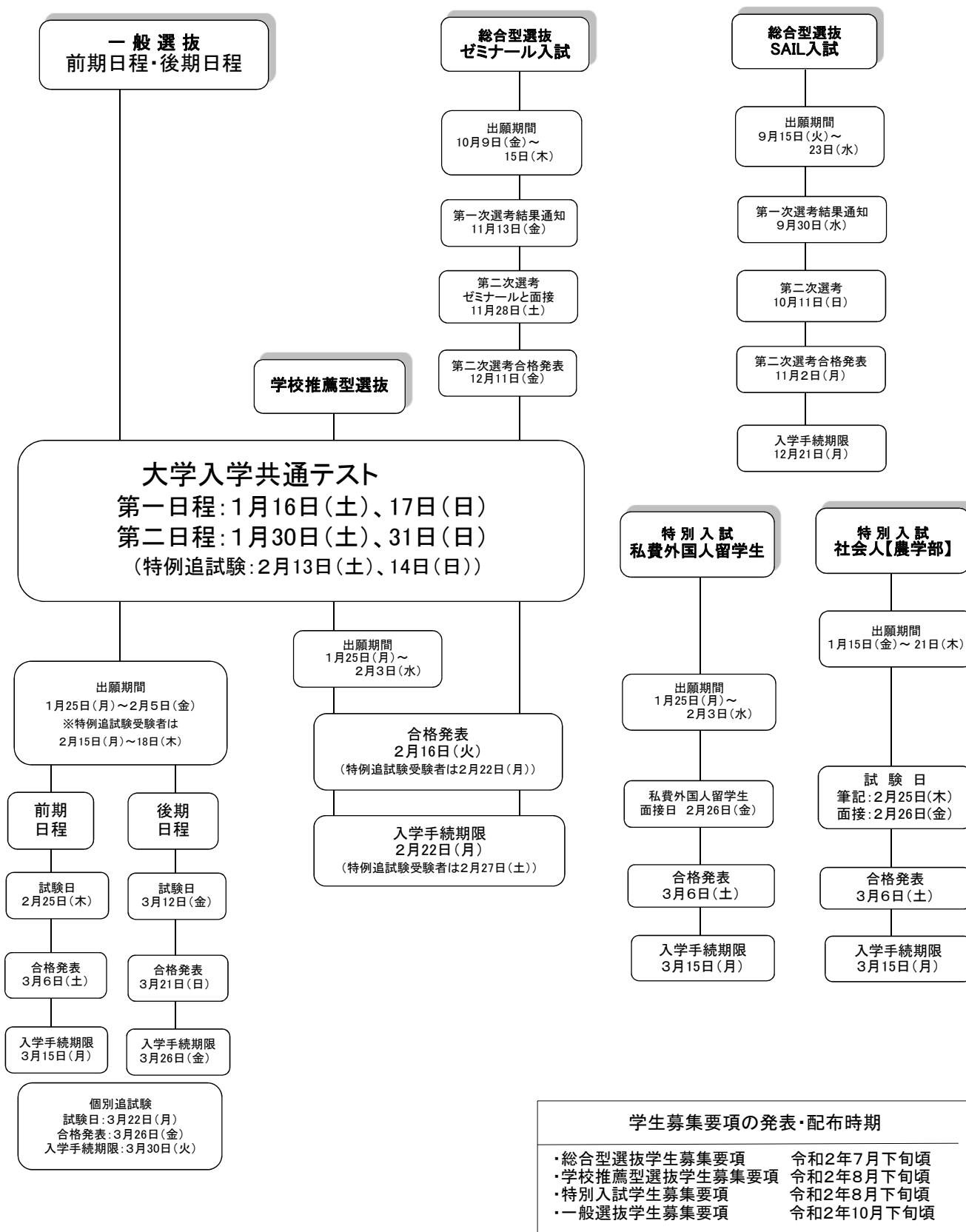


令和 3 (2021) 年度

入学者選抜要項

令和3(2021)年度 東京農工大学入学者選抜試験日程一覧

〈学部1年次入学試験〉



重 要

本要項に記載した情報は令和 2 年（2020 年）7 月時点の内容です。

各試験の詳細につきましては、順次公開される学生募集要項をご確認ください。

また、募集要項公開後も、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

【本学ホームページ「学部入試 > 重要なお知らせ」URL、QR コード】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/



目 次

I	東京農工大学アドミッション・ポリシー	1
II	入学定員および募集人員	5
III	入学者の選抜方法	6
IV	一般選抜	
1	出願資格	8
2	選抜方法	8
3	選抜期日等	8
4	入学者選抜実施教科・科目等	8
V	その他の入試	14
	ゼミナール入試（総合型選抜）〈農学部〉	15
	S A I L 入試（総合型選抜）〈工学部〉	16
	学校推薦型選抜〈農学部・工学部〉	18
	社会人入試〈農学部〉	20
	私費外国人留学生入試〈農学部・工学部〉	21
VI	受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談	22
VII	入試情報開示について	23
VIII	募集要項等の発表および請求方法	24
IX	令和4年度東京農工大学入学者選抜方法の変更について（予告）	30

I. 東京農工大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

（前文）

東京農工大学は、東京武蔵野に位置し、その歴史は、1874年に設置された内務省農事修学場および蚕業試験掛をそれぞれ農学部、工学部の創基とし、1949年に大学として設置され、前身校を含め長きに亘る歴史と伝統を有する大学です。この建学の経緯から、人類社会の基幹となる農業と工業を支える農学と工学の二つの学問領域を中心として、幅広い関連分野をも包含した全国でも類を見ない特徴ある科学技術系大学として発展してきました。

20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念としています。この基本理念を「使命志向型教育研究－美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE : Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth) と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組んでいます。

（学士課程）

東京農工大学は、学士課程において、学生の自主的・自律的な学習活動を尊重し、科学技術系の大学に相応しい学識、知の開拓能力、課題探求能力、問題解決能力を兼ね備えた人材の育成を行っています。

本学の理念と以下に掲げる農工両学部の教育目的に応じて、本学で学ぶことに明確な目的を持った人の入学を求めています。特に、自然や科学技術に関心を持ち、意欲と主体性を持って勉学に励む人を、国内外から広く受け入れます。

農学部では、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

工学部では、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術を授け、大自然に対する真理の探究心と解決すべき諸問題の本質を見抜く能力を育成します。また、持続可能な社会の実現に生かすことのできる幅広い教養と専門知識を有し、人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

上記の目的を達成するため、本学は入学を希望する学生に対し、アドミッション・ポリシーにおいて、次のような資質、素養、能力等を求めます。

農学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

- ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。
- ・人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
- ・地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲をもつ者。

生物生産学科

（教育目標）

生物生産学科は、日本および世界の農業を広く深く理解するとともに、農業に関わる高度な専門的知識を身につけ、生産技術環境、植物生産、動物生産および農業経営経済の分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 人類が直面する食料・農業・農村問題、持続的農業等の問題に関心があり、農業に関わる高度な専門的知識を身につけたいという意欲を持つ者。
2. 生物学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用生物科学科

（教育目標）

応用生物科学科は、分子生命化学、生物機能化学、生物制御学などのバイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野において優れた基礎的・応用的能力を有する、広い視野に立つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. バイオサイエンス・バイオテクノロジーの分野に関心があり、それらの分野での活動を通じて社会的、国際的に貢献したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

環境資源科学科

（教育目標）

環境資源科学科は、人類が地球環境と調和して生きていくための科学的基盤を創成することを目指し、生物学、化学、物理学などの自然科学に関する基礎学力を身につけ、環境や資源に関する問題解決に貢献しうる洞察力和探究心をそなえた人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 環境や資源に関する諸問題に関心があり、そうした諸問題の解決に貢献したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

地域生態システム学科

（教育目標）

地域生態システム学科は、森林・農村・都市を連続した地域と捉え、農の営みや自然と人間活動の多様な関係を対象として、自然科学と人文社会科学の協働による地域管理・計画に関する知識を身につけ、企業・研究機関・行政機関・地域社会における問題解決型の有能な人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 地域の生態や生産・社会の管理・計画・再生などに関わる諸問題に関心があり、その解決にグローバルな視点をもって貢献したいという意欲を持つ者。
2. 数学・理科・英語等の基礎科目に十分な学力を有するとともに、社会系の科目にも興味をもつ者。

共同獣医学科

（教育目標）

獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、本共同獣医学科は、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 獣医師としての目標を持ち、獣医学の発展に貢献しようとする意欲を持ち、自然や生命現象に関心を持ち、それを探求しようとする意欲を持つ者。
2. 生物学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有するとともに、読解力や科学的応用力を有する者。

工学部（学士課程）アドミッション・ポリシー

- ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。
- ・人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
- ・大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身につけた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲をもつ者。

生命工学科

（教育目標）

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 最先端の生命工学分野に強い関心があり、研究者・専門技術者として社会のニーズに対応しつつ活躍したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

生体医用システム工学科

（教育目標）

生体医用システム工学科は、現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、医療にかかわる工学技術と生物学・医学とを総合的かつ深く理解する能力を有し、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 工学的アプローチによる医療技術の研究開発に関心があり、物理学や電子情報工学といった工学技術を融合的に学び新たな生体医用工学技術を創出したいという意欲を持つ者。
2. 物理学・化学・生物学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

応用化学科

（教育目標）

応用化学科は、現代社会を支える化学・材料科学領域における諸問題を理解し、解決するために、基礎力、応用力、創造力に立脚した高機能先端材料の創製を通して、最先端の化学が関連する広範な産業に貢献できる人材を養成します。

（アドミッション・ポリシー）

1. 自然、生命、環境、エネルギー等の分野に関係する幅広い化学・材料科学に関心があり、これらの分野での研究開発に必要な基礎力をしっかりと身に付けた上で、最先端の化学・材料科学分野において活躍したいという意欲をもつ者。
2. 化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学、・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

化学物理工学科

(教育目標)

化学物理工学科は、化学と物理の両方を総合的に学ぶことで、社会的ニーズが高まっているエネルギー・環境等のグローバルな課題に果敢に挑戦し、それらを解決できる実践力を涵養します。さらに、課題の全体像をシステムとして俯瞰し、ブレイクダウンし、さらに数理的に取り扱うことで課題の俯瞰・詳細化・最適化を行い、基本原理に立脚した要素技術・システムを提案し開発できる高度グローバルエンジニアを養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 化学・物理学全般はもちろんのこと、エネルギー、新素材、環境などに関心があり、課題に対して化学と物理学の両視点・方法論から問題を分析して、新しい解決策を創造し、国際的な視野を持つエンジニアとして活躍したいという意欲を持つ者。
2. 化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

機械システム工学科

(教育目標)

機械システム工学科は、機械システム工学の発展と革新を通じて、持続可能かつスマートな社会を実現し、人類のフロンティアを開拓するイノベーション人材を育成します。数学・物理を基盤として機械システム工学全般に係る基盤教育を推進するとともに、機械物理学と知能情報技術等の先端知識や、分野横断的な知を融合した専門教育を実施します。知的な好奇心、洞察力と創造力、社会性と倫理観、課題解決力、語学力と国際性を発揮して世界で活躍する技術者を養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 機械システム工学全般に関心があり、持続可能かつスマートな社会を実現し、また人類のフロンティアを開拓すべく機械システム工学を発展・革新させたいという意欲を持つ者。
2. 数学・物理学等の理数系科目、ならびに英語等の基礎科目にも十分な学力を有している者。

知能情報システム工学科

(教育目標)

知能情報システム工学科は、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代の情報社会の基盤となる高度情報システムの構築に必要な教育研究を行います。コンピュータのしくみやプログラミングなど情報工学の基礎から最新の人工知能まで、知能情報システム工学の専門技術を幅広く習得し、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度ITイノベーション人材を養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 先端的な情報システムの構築、知能情報技術の創出など、新しい情報システムを創り出すことに興味があり、最先端技術の研究者・技術者としてグローバルに活躍したいという意欲を持つ者。
2. 数学・物理学等の理数系基礎科目、ならびに英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

Ⅱ. 入学定員および募集人員

学部	学 科 名	入学定員	募 集 人 員					
			前期日程 試 験	後期日程 試 験	ゼミナール 入 試	学校推薦型 選 抜	社 会 人	私費外国人 留 学 生
農 学 部	生 物 生 産 学 科	57 人	38 人	13 人		6 人	若干名	若干名
	応 用 生 物 科 学 科	71 人	47 人	16 人		8 人	若干名	若干名
	環 境 資 源 科 学 科	61 人	40 人	12 人	3 人	6 人	若干名	若干名
	地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	76 人	53 人	15 人		8 人	若干名	若干名
	共 同 獣 医 学 科	35 人	25 人	6 人		4 人		若干名
	学 部 計	300 人	203 人	62 人	3 人	32 人		

(注) 1. 前期日程の募集人員には、社会人および私費外国人留学生入試の若干名を含みます。

(注) 2. ゼミナール入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

学部	学 科 名	入学定員	募 集 人 員				
			前期日程試験	後期日程試験	SAIL入試	学校推薦型 選 抜	私費外国人留 学 生
工 学 部	生 命 工 学 科	81 人	46 人	25 人	5 人	5 人	若干名
	生体医用システム工学科	56 人	28 人	18 人	6 人	4 人	若干名
	応 用 化 学 科	81 人	42 人	36 人		3 人	若干名
	化 学 物 理 工 学 科	81 人	44 人	29 人	4 人	4 人	若干名
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	102 人	55 人	37 人		10 人	若干名
	知能情報システム工学科	120 人	64 人	42 人	7 人	7 人	若干名
	学 部 計	521 人	279 人	187 人	22 人	33 人	

(注) 1. 前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の若干名を含みます。

(注) 2. SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

Ⅲ. 入学者の選抜方法

1. 入学試験の概要

本学の入学者選抜は、次により行います。

入試区分	選抜区分	実施学部	大学入学共通テスト	入試概要等 (詳細は必ず募集要項を確認してください)	掲載ページ
一般選抜	前期日程	農学部 工学部	課す	前期日程（2月25日）と後期日程（3月12日）に分けて個別学力検査を実施します。一般選抜に出願するには、大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を全て受験する必要があります。 なお、国公立大学の前期日程に合格し入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても合格者となりません。	8～13
	後期日程				
総合型選抜	ゼミナール入試	農学部 (環境資源科学科)	課す	講義と実験の体験を通じて、一般選抜では評価することが難しい専門分野への適性、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、基礎学力などを総合的に判定するゼミナール入試を実施します。	15
	SAILL入試	工学部 (生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、知能情報システム工学科)	課さない	特別な活動成果を持つ者の中から、活動成果のレポートや面接などの成績、さらに調査書等の内容を主な資料として総合的に評価する総合型選抜を実施します。	16
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜	農学部 工学部	課す	大学入学共通テストの成績と推薦書、調査書および志望理由書で総合評価する学校推薦型選抜を実施します。	17・18
特別入試	社会人	農学部 (共同獣医学科を除く)	課さない	社会人としての実践的な経験を通じて、勉学に強い意欲を持った者に高等教育を受ける機会を目的とした入試を実施します。	19
	私費外国人留学生	農学部 工学部	課さない	日本国籍を有しない者のうち、外国において学校教育における12年の課程を修了した者等で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験および本学指定の英語検定試験を受験し、指定の基準を満たしている者を対象に入試を実施します。	20・21

2. 一般選抜の実施方式

一般選抜は、分離分割方式で実施します。

注： 分離分割方式とは、入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、まず、「前期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続きを行います。次に、「後期日程」の試験の実施と合格者の決定を行い、その合格者が入学手続きを行います。

この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日（令和3年3月15日）までに入学手続きを完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても「後期日程」の大学・学部の合格者とはなりません。

また、「前期日程」または「後期日程」の試験に合格し、その入学手続きを行わなかった者は、その「前期日程」または「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものとして取り扱います。

3. 一般選抜の出願について

志願者は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。

また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。

※一般社団法人公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

4. 学内併願について

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学科の場合、異なる学科の場合ともに可能です。

IV. 一 般 選 抜

1. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志願する学部・学科が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者としてします。詳細については、別紙2（P10～13）を参照してください。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号）
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および令和3年3月31日までに合格見込みの者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記(1)、(2)および(3)①～⑤に該当しない者であって、(3)の⑥で出願しようとするものは、出願前に個別の入学資格審査が必要となります。

入学資格審査を希望する者は、令和2年9月4日(金)までに、本学入試企画課入学試験室へ問い合わせてください。

ただし、大学入学共通テスト試験に出願後、新たに本学へ出願しようとする者は、令和2年12月25日(金)までに問い合わせてください。

2. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績および調査書の内容を総合して行います。

3. 選抜期日等

	出願期間	選抜期日	合格発表日	入学手続期限
前 期 日 程	令和3年1月25日(月) ～	令和3年2月25日(木)	令和3年3月6日(土)	令和3年3月15日(月)
後 期 日 程	令和3年2月5日(金) ※特例追試験受験者は 令和3年2月15日(月)	令和3年3月12日(金)	令和3年3月21日(日)	令和3年3月26日(金)
個 別 追 試	～18日(木)	令和3年3月22日(月)	令和3年3月26日(金)	令和3年3月30日(火)

4. 入学者選抜実施教科・科目等

次の別紙1（9ページ）および別紙2（10ページ～13ページ）を参照してください。

令和3年度東京農工大学入学者選抜方法等
 (一般選抜、専門高校・総合学科卒業生入試)

学部	日程	選抜方法等 学科名	個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生入試					個別 学力 検査 等 の 日 程	備考 (欠員の 補充の 方法等)	
			個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等			2段階選抜		個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等						募集 人員
				実技 検査 を 課 す る	面接 を 行 う	小論 を 課 す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	主として、調 査書の内容と 大学入学共通 テストの成績 により第1段 階選抜を行 う、その合格 者について更 に必要な検査 等を行う		第1段階の選抜に よる合格者数	定員に 対する 倍率	その他	実技 検査 を 課 す る			
農 学	前期 日程 試験	生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月 25日	追 加 合 格
	後期 日程 試験	生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月 12日	追 加 合 格
工 学	前期 日程 試験	生命工学科 生体医用システム工学科 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月 25日	追 加 合 格
	後期 日程 試験	生命工学科 生体医用システム工学科 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月 12日	追 加 合 格

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

令和3年度東京農工大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和2年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点 合計					
農学部(4.3) 300人 前期 203 後期 62 その他 35	生物生産学科 前期 57人 後期 13 その他 6	前期 2月25日	国	国語	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦					
							個別学力検査				200	150	150	200	700	社会人 外国人				
		計					200	*100	*100	400	500	400	1600	追加合格						
		後期 3月12日					外	国語	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦	
											個別学力検査				400	400				
		計									200	*100	*100	200	200	600	1300	追加合格		
	前期 2月25日	地歴 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 公民 現社、倫、政経、倫・政経	から1	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト					200	*100	*100	200	200	200	900	推薦		
						個別学力検査								400	400					
	計					200					*100	*100	400	500	400	1600	追加合格			
	後期 3月12日					公民	から1	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦		
										個別学力検査				400	400					
	計									200	*100	*100	200	200	600	1300	追加合格			
前期 2月25日	数	「(教I・教A)と (教II・教B、簿、情報から1)」の2	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト					200	*100	*100	200	200	200	900	ゼミナール 推薦			
					個別学力検査								200	150	150	200	700	社会人 外国人		
計					200					*100	*100	400	500	400	1600	追加合格				
後期 3月12日					外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目]	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦			
									個別学力検査				400	400						
計									200	*100	*100	200	200	600	1300	追加合格				
前期 2月25日	理	物、化、生、地学から2	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話						共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦			
									個別学力検査				200	150	150	200	700	社会人 外国人		
計									200	*100	*100	400	500	400	1600	追加合格				
後期 3月12日					外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目]	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦			
									個別学力検査				400	400						
計									200	*100	*100	200	200	600	1300	追加合格				
前期 2月25日	公民 数	「(教I・教A)と (教II・教B、簿、情報から1)」の2	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話						共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦 外国人			
									個別学力検査				200	150	150	200	700	追加合格		
計									200	*100	*100	400	500	400	1600	追加合格				
後期 3月12日					理 外	物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目]	数 教I・教II・教III・教A・教B(数列・ベクトル) 理 物基・物、化基・化、生基・生から2 外 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II・英語会話		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦			
									個別学力検査				400	400						
計									200	*100	*100	200	200	600	1300	追加合格				

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和2年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科 等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点 合計			
工学部〔4.0〕 521人 前期 284 後期 183 その他 54	生命工学科 81人 前期 46 後期 25 その他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 教	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	SAIL 推薦 外国人 追加合格	
					理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				350	200	200	150		900
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800		
		後期 3月12日	理 外	(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100	650		
					理	物基・物、化基・化から1		個別学力検査				150	300	200	650		
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300	1300		
	生体医用シス テム工学科 56人 前期 28 後期 18 その他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 教	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	SAIL 推薦 外国人 追加合格	
					理	「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2		個別学力検査				350	200	200	150		900
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800		
		後期 3月12日	理 外	(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 「(物)と (化、生、地学から1)」の2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100	650		
					理	物基・物		個別学力検査				150	300	200	650		
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300	1300		
応用化学科 81人 前期 42 後期 36 その他 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 教	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 「(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格		
				理	物基・物、化基・化、生基・生から2		個別学力検査				350	200	200	150		900	
				外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800			
	後期 3月12日	理 外	(数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100	650			
				理	物基・物、化基・化から1		個別学力検査				150	300	200	650			
				外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300	1300			

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和2年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等			
		教科	科目名等	教科 等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		配点 合計		
工学部〔4.0〕 521人 前期 284 後期 183 その他 54	化学物理工 学科 81人 前期 44 後期 29 その他 8	前期 2月25日	国 地歴 公民 教	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	SAIL 推薦 外国人 追加合格	
					理	物基・物と化基・化の2		個別学力検査				350	200	200	150		900
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800		
		後期 3月12日	理 外	「(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2 物と化の2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100	650		
					理	物基・物、化基・化から1		個別学力検査				150	300	200	650		
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300	1300		
機械システム 工学科 102人 前期 55 後期 37 その他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 教	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格		
				理	「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2		個別学力検査				350	200	200	150		900	
				外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800			
		後期 3月12日	公民 教	「(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B、簿、情報から1)」の2	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100		650	
					理	物基・物		個別学力検査				150	300	200		650	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300		1300	
知能情報シ ステム工学科 120人 前期 64 後期 42 その他 14	前期 2月25日	理 外	「(物)と (化、生、地学から1)」の2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	900	SAIL 推薦 外国人 追加合格		
				理	「(物基・物)と(化基・化、生基・生から1)」の2		個別学力検査				350	200	200	150		900	
				外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	200	*100	*100	550	600	350	1800			
		後期 3月12日	外	「(物)と (化、生、地学から1)」の2	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数列・ベクトル)		共通テスト	100	*50	*50	200	200	100		650	
					理	物基・物		個別学力検査				150	300	200		650	
					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話		計	100	*50	*50	350	500	300		1300	

(注意)

(4/4)

1. 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 地理歴史および公民について2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(2) 理科について

① 農学部生物生産学科、応用生物科学科、環境資源科学科、地域生態システム学科においては、「物、化、生、地学」のうち2科目とします。

② 農学部共同獣医学科においては、「物、化、生」のうち2科目とします。

③ 工学部生命工学科、応用化学科においては、「物、化、生」のうち2科目とします。

④ 工学部化学物理工学科においては、「物」、「化」の2科目を指定します。

⑤ 工学部生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科においては、「物」を指定、「化、生、地学」から1科目選択の計2科目とします。

(3) 外国語は200点満点とし、「英語」を選択した場合は、リーディングを130点、リスニングを70点とします。ただし、工学部後期日程試験においては外国語を100点満点に換算し、「英語」を選択した場合は、リーディングを65点、リスニングを35点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者（以下、リスニング免除者）については、リーディングの得点を200点満点（工学部後期日程試験においては100点満点）に換算します。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

(4) 工学部後期日程試験においては、国語を100点満点に換算し、地理歴史・公民を50点満点に換算します。

2. 【個別学力検査等】欄

(1) 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」は全範囲から出題します。「数B」は、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

(2) 『物基・物』は、「物基」、「物」の全範囲から出題します。『化基・化』は、「化基」、「化」の全範囲から出題します。『生基・生』は、「生基」、「生」の全範囲から出題します。

3. 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科の配点を示します。

4. 大学入学共通テストの成績の複数年度利用は、行いません。

V. その他の入試

本学では、一般選抜以外に、下記の入試を実施します。詳細は、令和2年7月下旬発表予定の「総合型選抜学生募集要項」および8月下旬発表予定の「学校推薦型選抜募集要項」、「特別入試学生募集要項」を参照してください。

令和3年度東京農工大学入学者選抜方法等（学校推薦型選抜ほか）

学部	選抜方法等 学科名	総合型選抜	学校推薦型選抜							推薦型選抜 募集人数	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									
			個別学力検査を免除し、大学共通テストを課する	個別学力検査および大学共通テストを免除する	実技検査等							
			実技検査を 課する	面接を 行う	小論文を 課す	外国語 お り ん す 課 外 に お け る ニ テ を る	その他					
農学部	生物生産学科	×	○	×	×	×	×	×	×	6人	○	○
	応用生物科学科	×	○	×	×	×	×	×	×	8人	○	○
	環境資源科学科	○ (モテール入試)	○	×	×	×	×	×	×	6人	○	○
	地域生態システム学科	×	○	×	×	×	×	×	×	8人	○	○
	共同獣医学科	×	○	×	×	×	×	×	×	4人	×	○
工学部	生命工学科	○ (SAIL入試)	○	×	×	×	×	×	×	5人	×	○
	生体医用システム工学科	○ (SAIL入試)	○	×	×	×	×	×	×	4人	×	○
	応用化学科	×	○	×	×	×	×	×	×	3人	×	○
	化学物理工学科	○ (SAIL入試)	○	×	×	×	×	×	×	4人	×	○
	機械システム工学科	×	○	×	×	×	×	×	×	10人	×	○
	知能情報システム工学科	○ (SAIL入試)	○	×	×	×	×	×	×	7人	×	○

(注) ○印は該当することを、×印は該当しないことを示す。

令和3年度 ゼミナル入試（総合型選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	農 学 部 環 境 資 源 科 学 科 3人												
出願資格・要件	<p>出願資格 次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。） または中等教育学校を平成31年4月以降に卒業した者および令和3年3月までに卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月以降に修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>出願要件 次のすべてに該当する者 (1) 学習成績が優秀な者 学校長から高い評価を得ている者（志願者評価書は、学校長に発行してもらいますが、学校ごとに発行できる志願者の人数は特に制限しません。） (2) 環境資源科学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者 (3) 最終合格した場合は、必ず入学することを確約できる者 (4) 第二次選考合格者は、令和3年度大学入学共通テストにおいて指定する3教科5科目を必ず受験すること</p>												
選 抜 方 法 等	<p>出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容、ゼミナルの結果、面接および大学入学共通テストの成績を総合して選考します。志願者評価書は参考資料とします。第一次選考と第二次選考、最終選考を行います。 なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。 3教科5科目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">数 学</td> <td>「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」</td> <td style="text-align: right;">計2科目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理 科</td> <td>「物、化、生、地学」</td> <td style="text-align: right;">から2科目</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外 国 語</td> <td>英（リスニングを含む）</td> <td style="text-align: right;">を1科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度大学入学共通テストにおいて、受験を課す教科・科目の合計得点である600点のうち、70%（環境資源科学科が定める合格基準点420点）以上獲得した受験生を最終選考合格者とします。</p>	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名			数 学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」	計2科目	理 科	「物、化、生、地学」	から2科目	外 国 語	英（リスニングを含む）	を1科目
大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名													
数 学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」	計2科目											
理 科	「物、化、生、地学」	から2科目											
外 国 語	英（リスニングを含む）	を1科目											
出 願 期 間	令和2年10月9日（金）～令和2年10月15日（木）												
選 抜 期 日	<p>○第一次選考（書類選考）結果通知日 : 令和2年11月13日（金） ○第二次選考（ゼミナルと面接） : 令和2年11月28日（土） ○大学入学共通テスト（3教科5科目） : 1)令和3年1月16日（土）・17日（日） 2)令和3年1月30日（土）・31日（日） (追試)令和3年2月13日（土）・14日（日）</p>												
合 格 発 表 日	<p>第一次選考：令和2年11月13日（金） 第二次選考：令和2年12月11日（金） 最終選考：令和3年 2月16日（火） ※特例追試験受験者は令和3年2月22日（月）</p>												
そ の 他	詳細については、令和2年7月下旬発表予定の総合型選抜学生募集要項を参照してください。												

令和3年度 SAIL入試（総合型選抜）

東京農工大学

実施学部・学科名 募 集 人 員	<table border="0"> <tr> <td>工 学 部</td> <td>生 命 工 学 科</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生体医用システム工学科</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学物理工学科</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>知能情報システム工学科</td> <td>7人</td> </tr> </table>	工 学 部	生 命 工 学 科	5人		生体医用システム工学科	6人		化学物理工学科	4人		知能情報システム工学科	7人
工 学 部	生 命 工 学 科	5人											
	生体医用システム工学科	6人											
	化学物理工学科	4人											
	知能情報システム工学科	7人											
出 願 資 格 ・ 要 件	<p>出願資格</p> <p>次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を卒業した者および令和3年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および 2021 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153号）</p> <p>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2021 年 3 月までに修了見込みの者</p> <p>③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成 17 年文部科学省告示第 137 号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 167 号）</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）</p> <p>⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および 2021 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、2021 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2021 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>出願要件</p> <p>次のすべてに該当する者</p> <p>(1) 学習成績が優秀な者 志願者評価書（生命工学科と生体医用システム工学科と化学物理工学科志願者のみ提出）は、学校長が発行して提出してもらいますが、学校ごとに発行できる志願者の人数は特に制限しません。</p> <p>(2) 本学生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科または知能情報システム工学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者</p> <p>(3) 最終合格した場合は、必ず入学することを確約できる者</p>												

選 抜 方 法 等	<p>【生命工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、理科に関する基礎学力と論理的な思考力、さらに潜在的な能力を総合的に評価します。</p> <p>【生体医用システム工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、特別活動に対する理解と論理の進め方、ならびに物理学と数学に関する基礎学力、理工学全般にかかわる潜在的な能力を総合的に評価します。</p> <p>【化学物理工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーション（10分）とレポートおよびプレゼンテーションの内容に関する質疑応答（20分）を含む面接を実施し、特別活動に対する理解や論理の進め方など、自然科学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。</p> <p>【知能情報システム工学科】 特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションと、その内容に関する質疑応答を通じた問題解決能力や論理的思考力の確認および数学に関する基礎能力の確認を含む面接を行い、特別活動に対する理解や論理の進め方など、情報工学や電気電子工学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。</p>
出 願 期 間	令和2年9月15日（火）～令和2年9月23日（水）
選 抜 期 日	第一次選考（書類選考）： 令和2年9月30日（水） 第二次選考（最終選考）： 令和2年10月11日（日）
合 格 発 表 日	第一次選考：令和2年9月30日（水） 第二次選考：令和2年11月2日（月）
そ の 他	詳細については、令和2年7月下旬発表予定の総合型選抜学生募集要項を参照してください。

令和3年度 学校推薦型選抜

東京農工大学

<p>実施学部・学科名 募集人員</p>	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">農学部</td> <td> 生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工学部</td> <td> 生命工学科 5人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 10人 知能情報システム工学科 7人 </td> </tr> </table>	農学部	生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人	工学部	生命工学科 5人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 10人 知能情報システム工学科 7人
農学部	生物生産学科 6人 応用生物科学科 8人 環境資源科学科 6人 地域生態システム学科 8人 共同獣医学科 4人				
工学部	生命工学科 5人 生体医用システム工学科 4人 応用化学科 3人 化学物理工学科 4人 機械システム工学科 10人 知能情報システム工学科 7人				
<p>出願要件</p>	<p>農学部出願要件 次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者</p> <p>② 学校教育法施行規則第93条第3項等の規定により、令和2年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月以降に修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者</p> <p>(3) 令和3年度大学入学共通テストの教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者</p> <p>(4) 学校推薦型選抜に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者</p> <p>工学部出願要件 次の各号の要件すべてに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を令和2年3月から令和3年3月までに卒業または卒業見込みの者</p> <p>② 学校教育法施行規則第93条第3項等の規定により、令和元年度または令和2年度の学年の途中または学期の区分に従い高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校の卒業を認められた者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月以降に修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(2) 学業・人物ともに優れ、志望学科に関連する分野における学習に強い意欲を有する者</p> <p>(3) 令和3年度大学入学共通テストで当該学部・学科が指定する教科・科目（選抜方法等参照）を受験する者</p> <p>(4) 学校推薦型選抜に合格した場合は、必ず入学することを確約できる者</p> <p>推薦人数 学校長が推薦する人数は、特に制限しません。</p>				

選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストの成績、推薦書、志望理由書および調査書を総合して選考します。 なお、大学入学共通テストの成績の複数年度利用は、行いません。</p> <p>大学入学共通テストで受験を課す教科（農学部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科 名</th> <th colspan="2">大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全 学 科</td> <td>国 語</td> <td>国語</td> </tr> <tr> <td>地歴と公民</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目。2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</td> </tr> <tr> <td>数 学</td> <td>数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」 計2科目</td> </tr> <tr> <td>生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 学 科 環 境 資 源 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科</td> <td rowspan="2">理 科</td> <td>「物、化、生、地学」から2科目</td> </tr> <tr> <td>共 同 獣 医 学 科</td> <td>「物、化、生」から2科目</td> </tr> <tr> <td>全 学 科</td> <td>外 国 語</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目</td> </tr> </tbody> </table>			学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名		全 学 科	国 語	国語	地歴と公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目。2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。	数 学	数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」 計2科目	生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 学 科 環 境 資 源 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	理 科	「物、化、生、地学」から2科目	共 同 獣 医 学 科	「物、化、生」から2科目	全 学 科	外 国 語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目
	学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名																			
全 学 科	国 語	国語																			
	地歴と公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目。2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。																			
	数 学	数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」 計2科目																			
生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 学 科 環 境 資 源 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	理 科	「物、化、生、地学」から2科目																			
共 同 獣 医 学 科		「物、化、生」から2科目																			
全 学 科	外 国 語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目																			
	<p>大学入学共通テストで受験を課す教科（工学部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科 名</th> <th colspan="2">大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応 用 化 学 科</td> <td>国 語</td> <td>国語</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全 学 科</td> <td>数 学</td> <td>数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」計2科目</td> </tr> <tr> <td>外 国 語</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目</td> </tr> <tr> <td>生 命 工 学 科</td> <td rowspan="3">理 科</td> <td>「物、化、生」から2科目</td> </tr> <tr> <td>生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科</td> <td>物と「化、生、地学から1科目」 計2科目</td> </tr> <tr> <td>応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科</td> <td>「物、化」の2科目</td> </tr> </tbody> </table>			学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名		応 用 化 学 科	国 語	国語	全 学 科	数 学	数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」計2科目	外 国 語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目	生 命 工 学 科	理 科	「物、化、生」から2科目	生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科	物と「化、生、地学から1科目」 計2科目	応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科	「物、化」の2科目
学 科 名	大学入学共通テストで受験を課す教科・科目名																				
応 用 化 学 科	国 語	国語																			
全 学 科	数 学	数I・数Aと 「数II・数B、簿、情報から1科目」計2科目																			
	外 国 語	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目																			
生 命 工 学 科	理 科	「物、化、生」から2科目																			
生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科		物と「化、生、地学から1科目」 計2科目																			
応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科		「物、化」の2科目																			
出 願 期 間	令和3年1月25日（月）～令和3年2月3日（水）																				
選 抜 期 日																					
合 格 発 表 日	令和3年2月16日（火） ※大学入学共通テストの特例追試験受験者については令和3年2月22日（月）																				
そ の 他	詳細については、令和2年8月下旬発表予定の学校推薦型選抜学生募集要項を参照してください。																				

令和3年度 社会人入試（農学部）

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	農学部 生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 各学科若干名
出願要件	<p>令和3年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を通算5年以上（満5年を含む。）有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和3年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の①から⑤までのいずれかに該当する者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号）</p> <p>④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）</p> <p>⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p>
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、学力試験・面接・志望理由書・調査書等を総合して選考します。
出願期間	令和3年1月15日（金）～令和3年1月21日（木）
選抜期日	令和3年2月25日（木）・2月26日（金）
合格発表日	令和3年3月6日（土）
その他	詳細については、令和2年8月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

令和3年度 私費外国人留学生入試

東京農工大学

実施学部・学科名 募集人員	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="430 362 702 517">農学部</td> <td data-bbox="702 362 1133 517"> 生物生産学 応用生物科学 環境資源科学 地域生態システム 共同獣医学 </td> <td data-bbox="1133 362 1441 517">} 各学科若干名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 517 702 741">工学部</td> <td data-bbox="702 517 1133 741"> 生命工学科 生体医用システム工 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工 知能情報システム工 </td> <td data-bbox="1133 517 1441 741">} 各学科若干名</td> </tr> </table>	農学部	生物生産学 応用生物科学 環境資源科学 地域生態システム 共同獣医学	} 各学科若干名	工学部	生命工学科 生体医用システム工 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工 知能情報システム工	} 各学科若干名
農学部	生物生産学 応用生物科学 環境資源科学 地域生態システム 共同獣医学	} 各学科若干名					
工学部	生命工学科 生体医用システム工 応用化学科 化学物理工学科 機械システム工 知能情報システム工	} 各学科若干名					
出願要件	<p>次の(1)、(2)、(3)、(4)のすべてに該当する者</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者は除く。）</p> <p>(2) 出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者または有する見込みのある者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程（注）を修了した者もしくは令和3年（2021年）3月までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>（注）「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。外国にあるインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、この要件①によって出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、必ず本学入試企画課入学試験室に問い合わせのうえ、令和2年（2020年）12月25日（金）までに必要な書類を提出してください。</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む。）を有する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>⑥ アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナルまたはグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年（2021年）3月31日までに18歳に達するもの 入学資格審査を希望する者は、必ず本学入試企画課入学試験室に問い合わせのうえ、令和2年（2020年）12月25日（金）までに本学入試企画課入学試験室へ必要な書類を提出してください。</p> <p>(3) 独立行政法人日本学生支援機構が令和2年（2020年）11月に実施する「2020年度日本留学試験」を受験した者（日本留学試験で受験を課する教科等は、次項を参照のこと）</p> <p>(4) 英語検定試験 次の英語検定試験のいずれかの基準を満たしている者 TOEFL 470点以上（Paper-Based） 52点以上（Internet-Based） TOEIC 500点以上</p>						

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、本学が実施する面接試験の成績および日本留学試験の成績、各種証明書等を総合して選考します。
出 願 期 間	令和3年（2021年）1月25日（月）～令和3年（2021年）2月3日（水） 原則として出願は持参とします。
選 抜 期 日	令和3年（2021年）2月26日（金）
合 格 発 表 日	令和3年（2021年）3月6日（土）
そ の 他	詳細については、令和2年（2020年）8月下旬発表予定の特別入試学生募集要項を参照してください。

私費外国人留学生入試における 2020年度日本留学試験で受験を課す教科・科目等

〔農学部〕

- ① 出題言語は日本語とする。
- ② 受験を課す教科・科目

学 科 名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生 物 生 産 学 科 応 用 生 物 科 学 科 共 同 獣 医 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	化学、生物の2科目
環 境 資 源 科 学 科 地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理・化学・生物から2科目選択

〔工学部〕

- ① 出題言語は日本語または英語のどちらでもよい。
- ② 受験を課す教科・科目

学 科 名	日本留学試験で受験を課す教科・科目名	
生 命 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理・化学・生物から2科目選択
生 体 医 用 シ ス テ ム 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理と「化学・生物から1科目選択」の計2科目
応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理、化学の2科目
機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科	日 本 語	
	数 学	コース2
	理 科	物理と「化学・生物から1科目選択」の計2科目

VI. 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願期間開始前までに相談してください。

なお、申請内容によっては、本学の試験日までに対応できず、配慮できないこともありますので、なるべく早く申し出てください。

1. 事前相談の方法

事前相談に当たっては、「2. 申請書の記入事項」に従い申請書を作成し、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者等との面談等を行います。

2. 申請書の記入事項

様式は特に定めませんが、A4判縦とし、次の事項を記載してください。

令和	年	月	日
東京農工大学長 殿			
	フリガナ		
	氏名		
	生年月日・性別		
	住所 〒		
	電話番号		
東京農工大学を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。			
記			
1. 志望する学部・学科（第1志望および第2志望学科）			
2. 選抜試験名（前期日程試験、SAIL入試、学校推薦型選抜等）			
3. 障害等の種類、程度			
4. 受験上希望する配慮事項			
5. 修学上希望する配慮事項			
6. 次の資料を添付してください。			
診断書（原本）、障害者手帳（写）、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）、その他参考となる資料等			

3. 提出・問合せ先

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

東京農工大学入試企画課入学試験室 電話. 042-367-5837、5544

VII. 入試情報開示について

一般選抜学生募集要項および学校推薦型選抜学生募集要項に掲載しますので、ご覧ください。

Ⅷ. 募集要項等の発表および請求方法

1. 発表（配付）予定

総合型選抜学生募集要項	令和2年7月下旬
学校推薦型選抜学生募集要項	令和2年8月下旬（ <u>Web上での発表のみ</u> ）
特別入試学生募集要項	令和2年8月下旬
一般選抜学生募集要項	令和2年10月下旬（ <u>Web上での発表のみ</u> ）

2. 請求方法

(1) 本学のホームページからの請求方法

本学のホームページから直接、「テレメール」「モバっちょ」等による資料が請求できます。詳しくは、東京農工大学のホームページをご覧ください。（<https://www.tuat.ac.jp/>）

(2) テレメールによる請求方法（特別入試学生募集要項、総合型選抜学生募集要項、大学案内および入試情報（令和2年度入試結果等を掲載した冊子））

① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話をご利用ください。

 テレメール	インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)の場合	自動音声応答電話の場合	
	http://telemail.jp スマートフォン・携帯電話で バルコードを読み取り、アク セスした場合は、資料請求番 号の入力は不要です。		I P 電話 ※

※IP 電話：一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内	562322
入試情報	547142
特別入試学生募集要項	582342
特別入試学生募集要項+大学案内	548862
総合型選抜学生募集要項	581782
総合型選抜学生募集要項+大学案内	582442

③ 後はガイダンスに従って操作してください。料金は、資料が届いたら同封の振込用紙により振り込んでください。資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。日曜・祝日の配達はありません。なお、17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。随時発送の資料が10日以上(予約受付の資料は発送開始日から10日以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※資料の料金は、資料到着後2週間以内に、お届けする資料に同封の支払い方法を確認の上お支払いください。


※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、氏名の登録時は、ゆっくり、はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問合せ・お申し出先
 テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102（受付時間 9:30～18:00）まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(3) 「モバっちょ」による請求方法（特別入試学生募集要項、総合型選抜学生募集要項、大学案内および入試情報（令和2年度入試結果等を掲載した冊子））

① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

http://djc-mb.jp/tuat3/ パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。	対応するスマートフォン・携帯電話で 読み取ることができます。	
---	-----------------------------------	---

② ガイダンスに従って登録してください。

【料金の支払い方法等】

- 1 請求時払い：スマホ払い、携帯払い、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途 50 円必要です。）
 ※スマートフォン・携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。
- 2 後払い：資料到着後、コンビニでお支払いください。（別途、支払手数料 126 円が必要です。）
- 3 請求から 2～5 日程で送付されます。宅配発送の場合は 1～3 日で送付されます。

《モバっちょでの請求に関するお問合せ先》

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

(4) 宅配による請求方法（特別入試学生募集要項、総合型選抜学生募集要項および入試情報（令和2年度入試結果等を掲載した冊子））

インターネット（パソコン・スマートフォン）またはFAX（P.28）で申し込んでください。平日の14時までの申込みは当日受付となり、原則として受付日当日に発送し翌日の配達となります。ただし、平日の14時以降・土日・祝日・夏季休業日・年末年始の申込みは、明けて翌日の発送となります。また、北海道・九州・沖縄・離島は、発送後の翌々日の配達となります。送料は着払いです。

なお、配達予定日を過ぎても到着しない場合は、③の問合せ先にご連絡ください。

夏季休業日、年末年始の日程については生協ホームページをご覧ください。


（生協ホームページ <https://www.univcoop.jp/tuat>）

① 受付期間

総合型選抜	ゼミナール（農学部） SAIL（工学部）	令和2年8月1日～令和2年9月10日
特別入試	社会人（農学部）	令和2年9月1日～令和3年1月8日
	私費外国人留学生	令和2年9月1日～令和3年1月22日
入試情報		令和2年8月1日～令和3年1月22日

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

② 申込み先

インターネット(パソコン・スマートフォン)の場合 https://www.univcoop.jp/tuat		FAX 042-352-7222 (24時間受付) 28頁の「学生募集要項」等 申込書をご利用ください。
フォームに必要事項を入力し、内容を確認のうえ、送信してください。		

③ 問合せ先

東京農工大学生協

電話：042-366-0762（夏季休業日・年末年始・土日・祝日を除く10時～14時）

(5) 大学へ直接請求する方法（特別入試学生募集要項、総合型選抜学生募集要項、大学案内および入試情報（令和2年度入試結果等を掲載した冊子））

1) 郵送による場合

切手をはり付けた返信用封筒（角形2号の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。）を同封のうえ、申し込んでください。

《請求方法》

- ① 返信用封筒に310円（速達の場合は640円）の切手をはり付けてください。
- ② 請求用封筒に返信用封筒を入れ、表のあて名の横に「特別入試学生募集要項請求」・「総合型選抜学生募集要項請求」・「入試情報請求」の別を、必ず朱書きで明記してください。

なお、返信用封筒には「送り先」および「ゆうメール」と記載してください。

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

③ 請求先

東京農工大学入試企画課入学試験室（〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1）

2) 直接取りにくる場合

以下の窓口で入手できます。月～金曜日（土日・祝日を除く）8：30～12:00、13:00～17：00

- ・入試企画課入学試験室（東京都府中市晴見町3-8-1）
- ・小金井地区事務部学生支援室入学試験係（東京都小金井市中町2-24-16）

空白ページ

送 信 先

東京農工大学生協 御中

FAX 042-352-7222

東京農工大学「学生募集要項」等申込書

下記の要項等を請求します。料金は受取の際に支払います。

申 込 日	令和 年 月 日									
請求する要項等※ (○で囲む)	種 類					部 数				
	総合型選抜 学生募集要項									
	特別入試 学生募集要項									
	入試情報 (令和2年度入試結果等 を掲載した冊子)									
配 達 先	郵便番号	〒				-				
	住 所	都 道 府 県								
	フリガナ 氏 名									
	電話番号	() -								

※大学案内は、いずれの資料を請求しても、1冊同封されます。

- (注) 1. 文字はかい書で、はっきりと書いてください。
 2. 「種類」は希望するものを○で囲んでください。
 3. 「住所」はアパート名、棟、号数まで記入してください。

IX. 令和4(2022)年度東京農工大学入学者選抜方法の変更について(予告)

・令和4(2022)年度東京農工大学入学者選抜について(予告)

東京農工大学では、工学部において、令和4(2022)年度入学者選抜から、募集人員を変更します。

(変更前：令和3(2021)年度入試)

	入学定員	前期	後期	SAIL	推薦	私費外国人
生命工学科	81	46	25	5	5	若干名
生体医用システム工学科	56	28	18	6	4	若干名
応用化学科	81	42	36		3	若干名
化学物理工学科	81	44	29	4	4	若干名
機械システム工学科	102	55	37		10	若干名
知能情報システム工学科	120	64	42	7	7	若干名
学部計	521	279	187	22	33	若干名

(単位：人)



(変更後：令和4(2022)年度入試)

	入学定員	前期	後期	SAIL	推薦	私費外国人
生命工学科	81	42	25	7	7	若干名
生体医用システム工学科	56	28	18	6	4	若干名
応用化学科	81	42	36		3	若干名
化学物理工学科	81	44	29	4	4	若干名
機械システム工学科	102	52	37	5	8	若干名
知能情報システム工学科	120	64	42	7	7	若干名
学部計	521	272	187	29	33	若干名

(単位：人)

・ 令和4(2022)年度SAIL入試(工学部)の一部変更について(予告)

東京農工大学では、令和4(2022)年度SAIL入試(工学部)において、新たに機械システム工学科の募集を開始します。

学部名	学科名	募集人員
工学部	機械システム工学科	5人

本冊子に掲載した情報は令和2(2020)年5月時点での内容であり、今後変更する可能性がありますので、本学からの発表についてご注意ください。

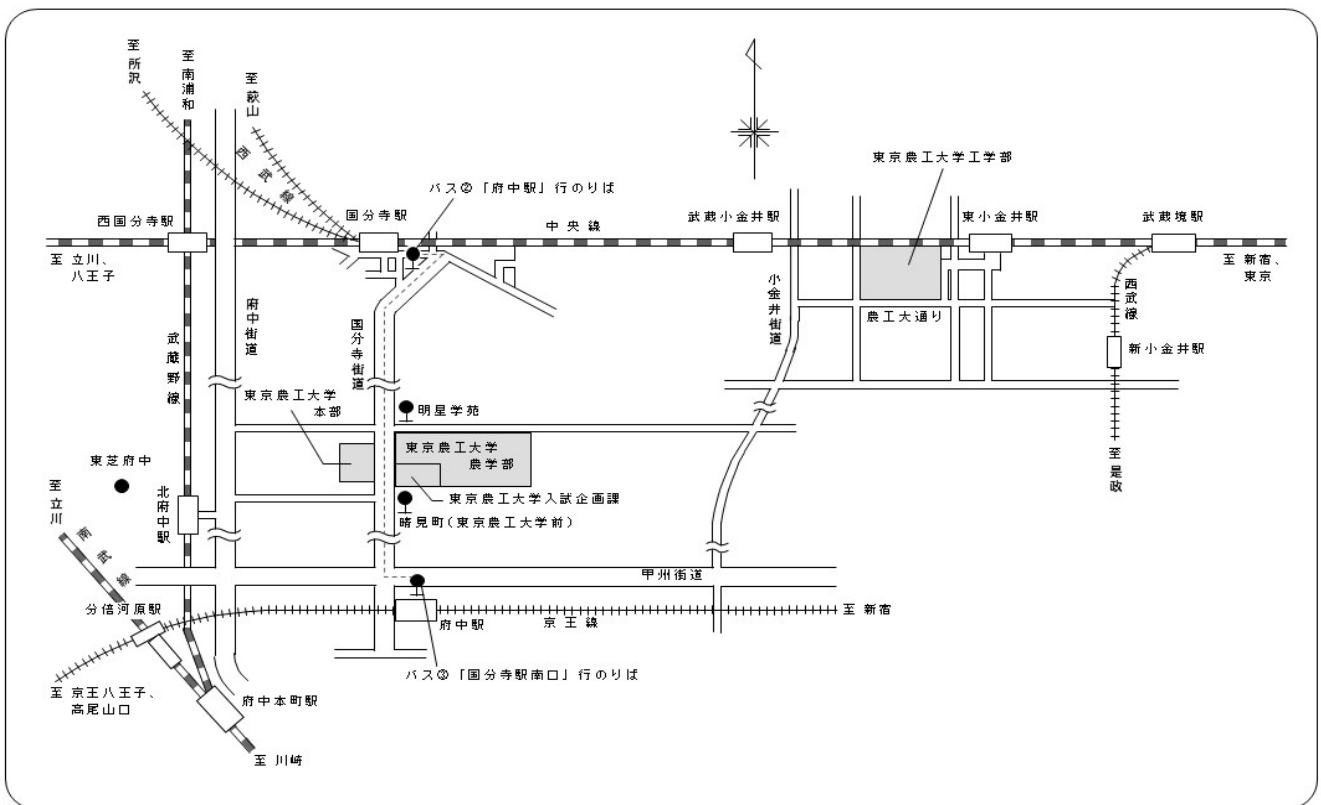
なお、入学者選抜方法等について、入学希望者および関係者へ速やかに周知すべき入試情報については、本学ホームページ(<http://www.tuat.ac.jp>)に掲載することとしておりますので、ご確認ください。

【本学HPのQRコード】



交通案内

- | | |
|--|---|
| <p>農学部</p> <p>JR 中央線</p> <p>京王線</p> <p>JR 武蔵野線</p> | <p>○国分寺駅（新宿から約 30 分）
2 番乗場 南口から府中駅行きバス（明星学苑経由）
約 10 分 晴見町（東京農工大学前）下車</p> <p>○府中駅（新宿から約 30 分）
3 番乗場 バスターミナルから国分寺駅南口行きバス
（明星学苑経由）
約 7 分 晴見町（東京農工大学前）下車</p> <p>○北府中駅から徒歩約 12 分</p> |
| <p>工学部</p> <p>JR 中央線</p> | <p>○東小金井駅（新宿から約 24 分）
南口から徒歩約 8 分・nonowa 口から徒歩約 6 分</p> <p>○武蔵小金井駅（立川から約 13 分）
南口から徒歩約 20 分</p> |



所在地

本部 東京都府中市晴見町 3-8-1
 農学部 東京都府中市幸町 3-5-8
 工学部 東京都小金井市中町 2-24-16
<http://www.tuat.ac.jp/>

入学試験に関する問合せ先

◎ 東京農工大学入試企画課入学試験室
 〒183-8538 東京都府中市晴見町 3-8-1
 電話 042-367-5837、5544
 受付時間
 月曜日～金曜日（土日・祝日を除く）
 9:00～12:00、13:00～17:00

電話等による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。